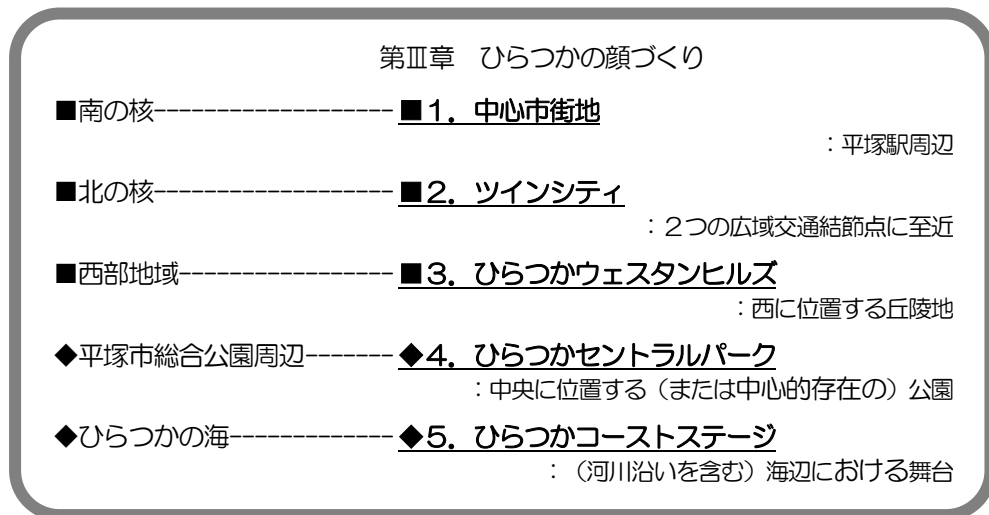


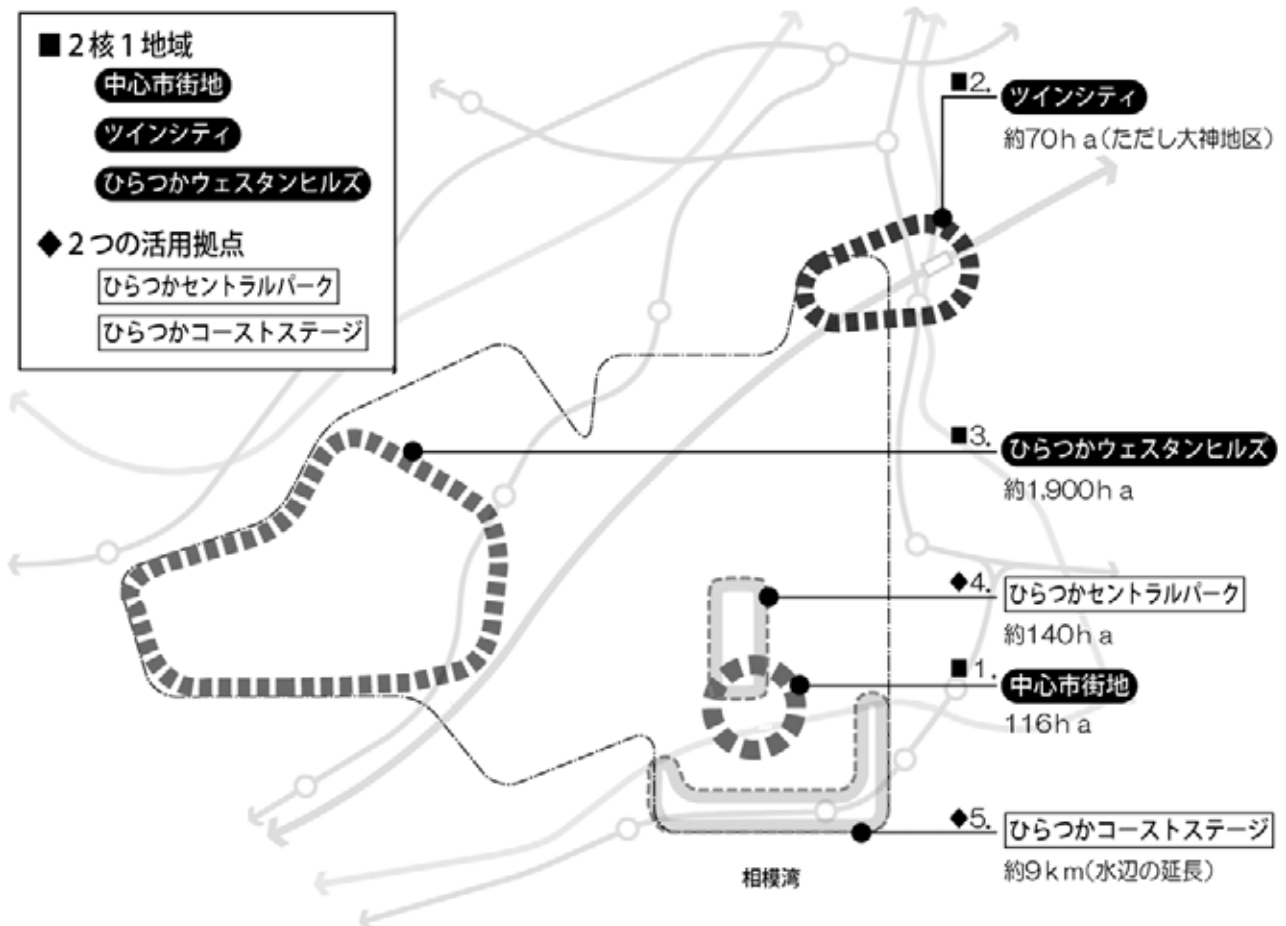
## 第Ⅲ章 ひらつかの顔づくり

将来都市構造で示した2核1地域と、2つの活用拠点が、本市の都市づくりを導く顔となっていくように、基本として取り組むべき施策を位置づけます。

- ・第Ⅱ章（2）の将来都市構造のうち、2核1地域である「■南の核」「■北の核」「■西部地域」と、2つの活用拠点である「◆平塚市総合公園周辺」「◆ひらつかの海」の5つを、ひらつかの都市としての価値を高め、ひらつかをアピールする先導的な地域とします。



5つの顔の位置



## Ⅲ. 1 中心市街地

### (1)概況

- ・平塚市の中心市街地は、平塚駅周辺の116haのゾーンです。
- ・中心市街地は区画整理でほぼ成立し街区が大きいため、自動車に適した商業形態として発展してきました。しかしながら車社会のさらなる進展と郊外型店舗の進出などにより購買人口が大きく減少しています。
- ・平塚駅北口を降りても平塚をイメージするものが少なく、北口広場は乗り換えが不便です。また、駅周辺は放置自転車による安全面や景観面での問題もあり、本市の玄関口としての風格に欠けます。市民の問題意識も高く「にぎわいが感じられない」、「商業が充実していない」、「安心なまちにして欲しい」などの声が多く聞かれます。

### (2)顔づくりのねらい

- ・「街なかの至る所で驚きや快適さを見つけられ、ときめきそして心豊か」になり、また「物販機能に加えサービス機能や滞留時間消費機能が充実」しており、「高齢者や学生を始め様々な人々が気軽に安心して楽しめる」ような中心市街地とすることが重要です。

### (3)取組みの方針

- ・目的の商品やサービスのために来街するだけでなく、気軽に散策でき、楽しさを享受できる中心市街地とすることをめざします。
- ・平塚駅周辺の玄関口としての機能強化、歩行者や自転車重視の空間づくり、回遊性の充実などをめざします。

### (4)取組みの方向性

#### ■ 1. 風格ある玄関口づくり

- ・平塚駅の南口から北口に至る動線の機能の強化、北口広場におけるバス利用者のためのバリアフリー整備、北口及び南口広場における人がたまる空間の創出、両広場周辺におけるみどりの見え方の工夫、そして沿道建物を含む駅前大通り及びなぎさプロムナードにおける良好な景観の形成、などを進めます。
- ・交通と観光の案内役となり、交通の乗り換え時のサービスなどを提供する施設の設置について検討します。

#### ■ 2. 歩行者や自転車利用者のための空間づくり

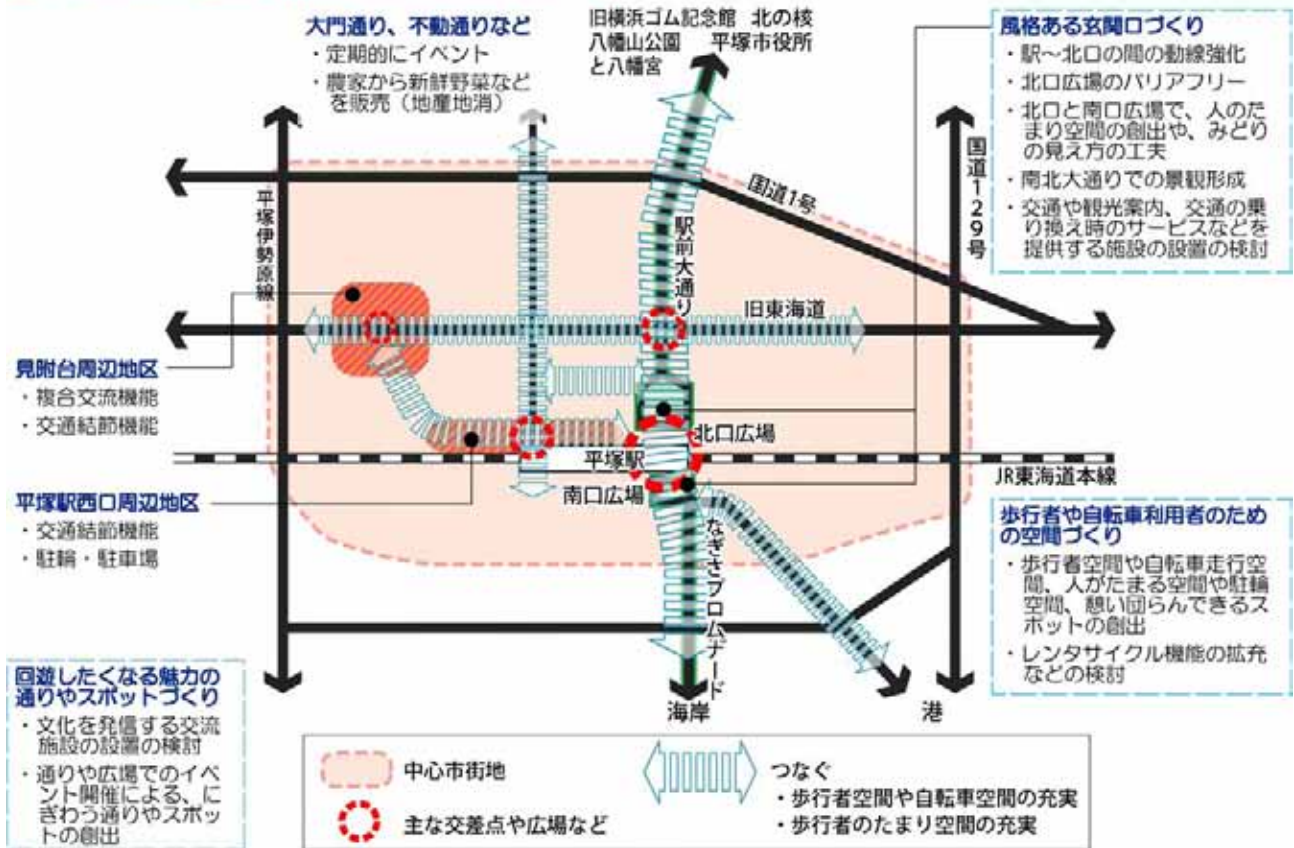
- ・歩行者や自転車利用者を重視した道路とします。このため、歩行者空間や自転車空間、人がたまる空間や駐輪空間、憩い回らねどけるスポットなどを、車道と歩道と植樹帯などを再配分することによって創出します。またレンタサイクル機能の拡充などについて検討します。

#### ■ 3. 回遊したくなる魅力の通りやスポットづくり

- ・平塚駅西口周辺地区や見附台周辺地区を再整備すると共に、平塚市の文化などを市民と商店街と市などが協働で発信する、交流施設の設置について検討します。
- ・歴史的に由緒ある道路や人通りの多い道路、モール、大きい交差点、広場などを対象に、定期的なイベントなどが開催でき、高齢者や主婦、学生、市外からの来街者など様々な層でにぎわう通りやスポットの創出について検討します。

## 中心市街地

### ■中心市街地に係る取組みの方向性のイメージ



## Ⅲ. 2 ツインシティ

### (1)概況

- ・ ツインシティは、新幹線新駅整備による神奈川県土の新たな南のゲートとして計画されており、本市においては大神地区の約70haがその一翼を担い、北の核となります。一方でツインシティは、開設間近のさがみ縦貫道路・寒川北インターチェンジに近い位置にあります。
- ・ このように2つの広域高速交通の結節点への至近性から、ツインシティにおいては新しい都市機能の立地需要が高まっています。

### (2)顔づくりのねらい

- ・ 鉄道駅が一つである本市にとって、2つの広域高速交通の結節点に直結する「新たな都市核」が形成されることは、本市全体の都市活力を高める貴重なチャンスとなります。また、これまで都市機能のなかった地区に新しい都市を形成することから、本市の新しい顔として21世紀を見通す計画的な都市づくりが必要です。

### (3)取組みの方針

- ・ ツインシティ（大神地区）の将来は、「人と環境にやさしく、様々な人が交流し、新しい産業や高次都市機能が集積する、平塚の新たな玄関口」をイメージします。
- ・ このため「環境共生型」「公共交通指向型」「地域生活圏形成型」の都市づくりをめざします。

### (4)取組みの方向性

#### ■1. 21世紀を見通す計画的な都市づくり

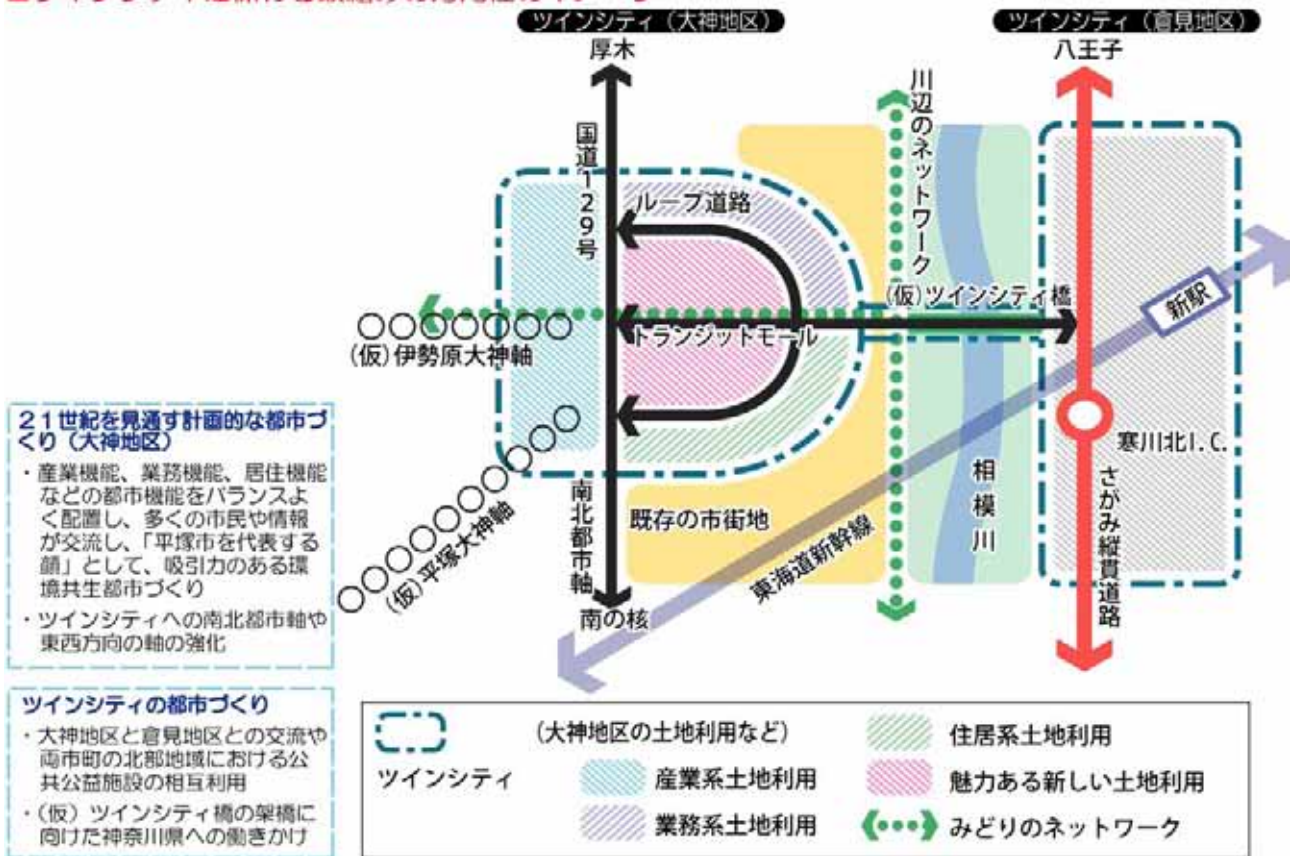
- ・ ツインシティ（大神地区）においては、市の新たな「核」となるよう、産業機能、業務機能、居住機能などの都市機能をバランスよく配置し、多くの市民や情報が交流し、「平塚市を代表する顔」として、吸引力のある環境共生都市づくりを目指します。
- ・ 新たに創造される市街地の発展に向けて、ツインシティ（大神地区）への南北都市軸や、東西方向の軸の強化をめざします。

#### ■2. ツインシティの都市づくり

- ・ ツインシティの都市づくり機運の醸成に向けて、大神地区と倉見地区で連携した交流の実施や、両市町の北部地域における公共公益施設の相互利用の推進など、相模川東西の一体性を高める都市づくり活動を検討します。
- ・ 大神地区と倉見地区、寒川北インターチェンジをつなぐため、新たな相模川橋梁となる（仮）ツインシティ橋の架橋のため神奈川県に働きかけます。

## ツインシティ

### ■ツインシティに係わる取組みの方向性のイメージ



## Ⅲ. 3 ひらつかウエスタンヒルズ

### (1)概況

- ・ひらつかウエスタンヒルズは「土沢地区」「北金目地区」「南金目地区」「旭地区の西側の一部」からなり、約 1,900ha に及びます。このうち、土屋・吉沢地区を中心とする西部丘陵地は約 1,300ha あり、本市で最も貴重な自然が残っている地域です。
- ・この西部丘陵地は、古くから人の手が入り、地域の人たちが利用してきた里山であり、農地と山林、集落が一体となった地域となっています。このように、農業の営みによって管理されてきた二次的な自然ですが、最近では農業の生産の場だけではなく、景観の保全、生物多様性の確保、生活文化の伝承、環境学習の場としての活用など、多面的な機能が期待されます。
- ・里山を支える地域の人たちは、年々高齢化し後継者不足が顕著になっており、風光明媚な自然の維持が難しくなっています。

### (2)顔づくりのねらい

- ・本市は東京圏に最も近い都会性と自然性をあわせもつ都市であるといえますが、西部丘陵地の里山は、真にこの自然性にあたり、市外に向けてアピールできる価値ある存在です。
- ・このため、里山がいつまでも現在同様の美しい姿であるよう保全していきませんが、保全を維持するためには、里山を含む地域全体の活性化が重要です。

### (3)取組みの方針

- ・学術機関や研究所などをいかし地域の活性化に資する土地利用に努めます。また、里山を理解する人の手を誘導し、現に里山を支える地域全体の活性化をめざします。
- ・里山をいかすよう交流やレクリエーション機能を導入し、既存の資産も含め回遊できるルートの充実をめざします。

### (4)取組みの方向性

#### ■ 1. 地域の活性化

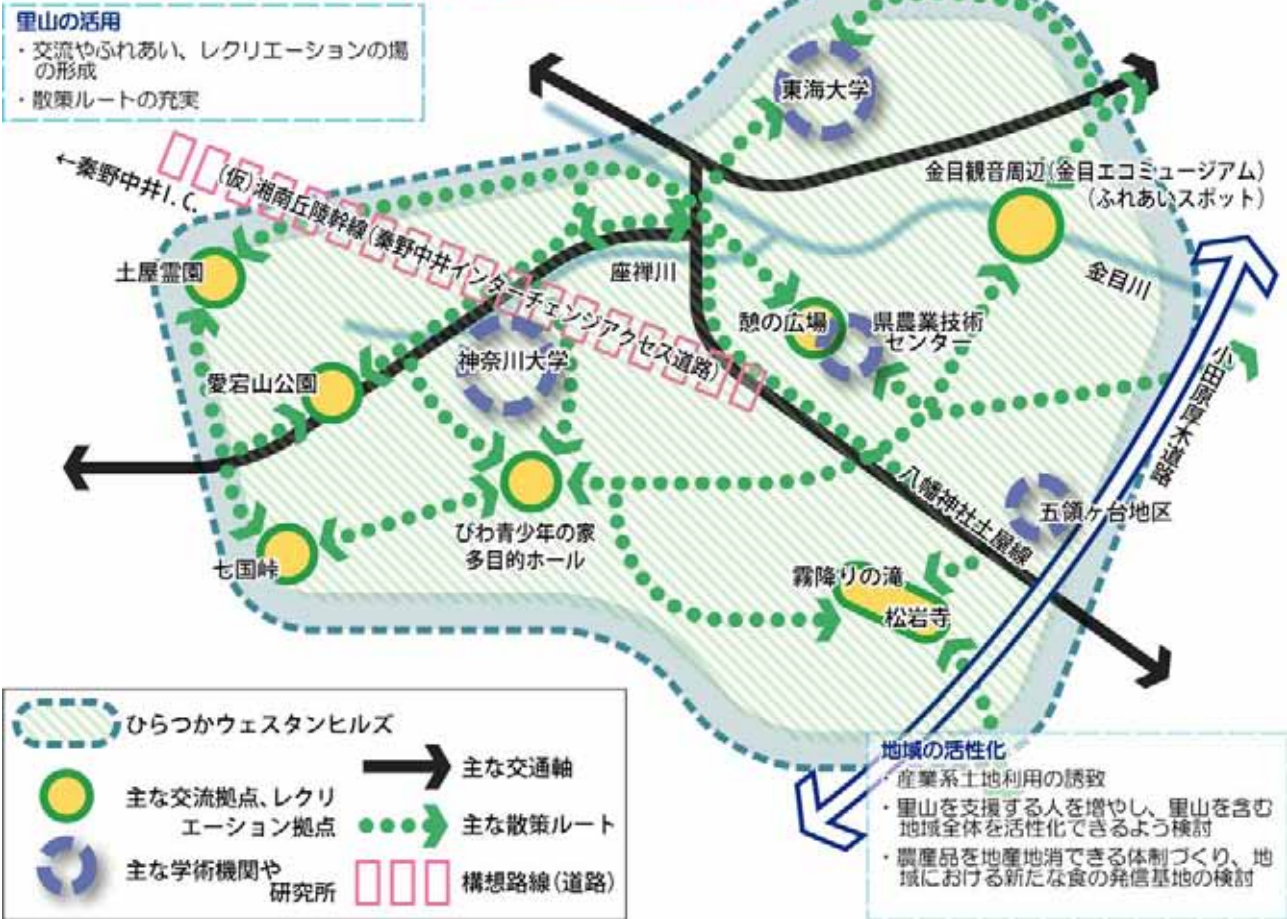
- ・周辺環境と調和する産業系土地利用の誘導に努めます。
- ・里山を理解し愛着をもつ人や、農業の支援をしてくれる人、遊休農地を活用してくれる人、新しいライフスタイルとして地域の人となり里山を支えてくれる人など、里山を理解する人の手を増やし、里山を含む地域全体を活性化できるよう検討します。
- ・農産品を市街地で地産地消できる体制づくりや、新たな食の発信基地の整備など、地域全体の活性化策について検討します。

#### ■ 2. 里山の活用

- ・里山において、学術機関や研究所及び地域農業などとの連携も視野に入れて、環境教育をベースとした交流やふれあい、レクリエーションの場を形成します。
- ・里山の良さやすばらしさを理解してもらうため、周辺も含め西部地域にある多くの資産（平塚八景、びわ青少年の家、憩いの広場、学術機関や研究所、金目観音周辺（金目エコミュージアム））などをつなぐ散策ルートを充実します。

# ひらつかウェスタンヒルズ

## ■ひらつかウェスタンヒルズに係わる取組み方向性のイメージ



## Ⅲ. 4 ひらつかセントラルパーク

### (1)概況

- ・ひらつかセントラルパークは、平塚市総合公園と市役所など公共施設ゾーンを一体的に捉えた約140haのゾーンです。
- ・平塚市総合公園は、街なかにあって30.3haの規模をもつ広大な公園です。球場や競技場、体育館、プール、テニスコート、自由広場、相撲場、レストハウスなどがあり、スポーツや散策、休養を通じて潤いのある生活が楽しめる公園として多くの市民に親しまれています。なお、平塚市総合公園は、市民意向調査によると「平塚市に魅力や誇りを感じる点」で第1位となっています。
- ・一方、公園の南東方向にみどり豊かな公共施設ゾーンがあり、市役所を始めとする行政機関や、図書館・美術館・博物館など文化施設が至近な位置で集積しています。

### (2)顔づくりのねらい

- ・平塚市総合公園や市役所周辺の公共施設ゾーンは、スポーツやレクリエーション、市役所を含めた図書館・美術館・博物館などの文化機能をいつでも楽しむことができる街なかのオアシスであり、また、見附台周辺地区は、音楽・芸術に触れ合える場所となっています。これらを含めた範囲をひらつかセントラルパークとして、その魅力を一層高めることが重要です。
- ・そして各種施設にあっては、住む人・働く人・訪れる人、また子どもから高齢者まで、誰もがスポーツや文化、音楽、芸術に親しめるよう、つかいやすくることが必要です。

### (3)取組みの方針

- ・さらに多くの市民につかってもらえるよう、利用者の視点にたった施設運営をめざします。
- ・誰もがアクセスできるバリアフリーのパーク形成をめざします。
- ・パーク内の施設間をつなぎ、また、パークを基点としたレンタサイクル網の形成をめざします。

### (4)取組みの方向性

#### ■ 1. 誰もが楽しめる、利用者の視点にたったセントラルパークづくり

- ・公園内や公共施設ゾーンの各施設は、利用者の視点にたった運営に心がけ、必要に応じて機能の高度化に努めます。また、施設内容やイベントなどの総合的な情報発信に努めます。

#### ■ 2. 誰もがアクセスできるバリアフリーのセントラルパークづくり

- ・平塚市交通バリアフリー基本構想<sup>(注1)</sup>や、平塚市福祉のまちづくりモデル地区整備計画<sup>(注2)</sup>などを踏まえ、総合的なバリアフリーに努めます。

注1、注2：道路の段差解消などを、市民参加のもとに位置づけた既存の計画

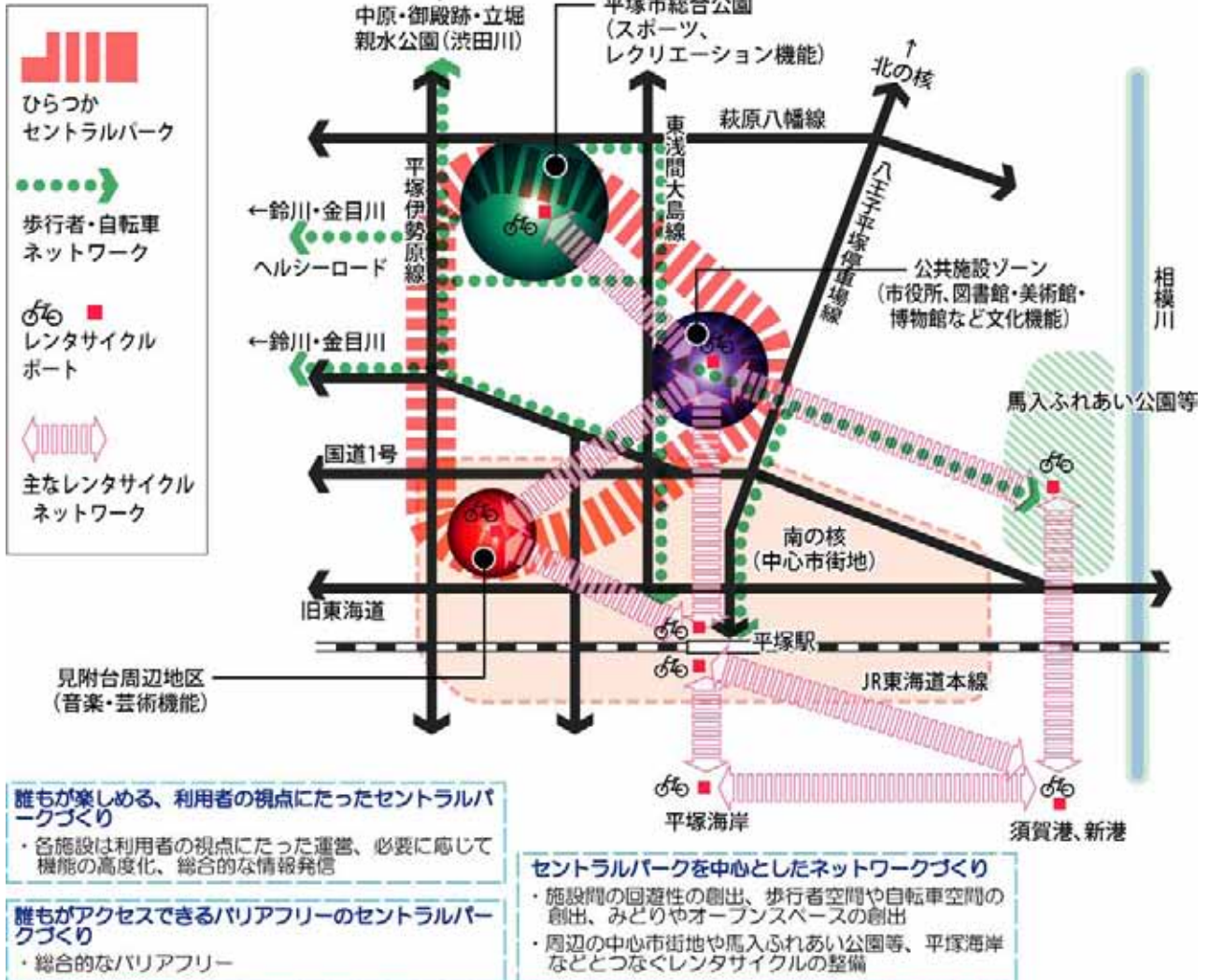
#### ■ 3. セントラルパークを中心としたネットワークづくり

- ・施設間を回遊し、散策や休憩ができるよう、歩行者空間や自転車空間の創出、みどりやオープンスペースの充実などを進めます。
- ・セントラルパークを基点として、中心市街地や馬入ふれあい公園、鈴川・金目川、平塚海岸など、やや遠方にも気軽に行けるよう、レンタサイクルの整備について検討します。



# ひらつかセントラルパーク

## ■ひらつかセントラルパークに係わる取組み方向性のイメージ



## Ⅲ. 5 ひらつかコーストステージ

### (1)概況

- ・ひらつかコーストステージは、ひらつかの海岸線と、相模川を通じて馬入ふれあい公園、及び花水川を通じて旧東海道までのU字型・約9kmの水辺ゾーンです。
- ・首都圏内陸部からさがみ縦貫道経由で南下して出会う太平洋が、ひらつかの海です。相模川河口から新港周辺は、内陸の人々にとって、大海原へ誘う入口の一つとなります。
- ・ひらつかの海は、海業（うみぎょう）<sup>(注)</sup>の場であると共に、新港が整備されるなどマリネレジャーの振興拠点となっています。また、湘南ひらつかビーチパークと、このビーチパークを活用する市民グループの活動は、全国的な先進事例として評価されています。

注：海業：漁業と市民との交流や、漁業からマリネレジャーまで、海を利用して成り立っている様々な業を総称した新しい産業構造

### (2)顔づくりのねらい

- ・さがみ縦貫道路の開通で移動時間が大きく短縮され、首都圏内陸部の人にとってひらつかの海は身近な存在となります。このため、ひらつかの海のもつ魅力や能力をフルにいかし、これを広域に向けて積極的にアピールすることが重要です。

### (3)取組みの方針

- ・海辺や川の良好な環境を維持し自然の保全をめざすと共に、新港周辺にレクリエーションを始めとする多機能型の拠点を配置し、海辺と川辺がもつ既存の魅力ある施設をつなぎあわせ総じて高い魅力をもち、人々にぎわうステージとすることをめざします。

### (4)取組みの方向性

#### ■ 1. 海辺や川の自然やみどりの保全

- ・より良い海辺とするため、緩衝帯となる松林等の維持及び保全、そして砂浜の養浜<sup>(注)</sup>を進めます。

注：養浜：海辺に土砂（砂）を人工的に供給し海浜を回復すること

- ・海辺の松林等も含め、相模川や花水川の自然やみどりの維持及び保全を進めます。

#### ■ 2. 海を多面的に活用する

- ・新港及び周辺においては、漁業基盤施設の充実、観光や市民交流の場の創出、海にまつわる文化の継承と発信、マリネレジャーの機能強化、海上タクシー、災害時における海上輸送による救援物資の輸送ルートの確保など、多機能型の拠点整備の可能性を探るため、総合的に検討します。

#### ■ 3. 海辺と川辺をいかしたネットワークづくり

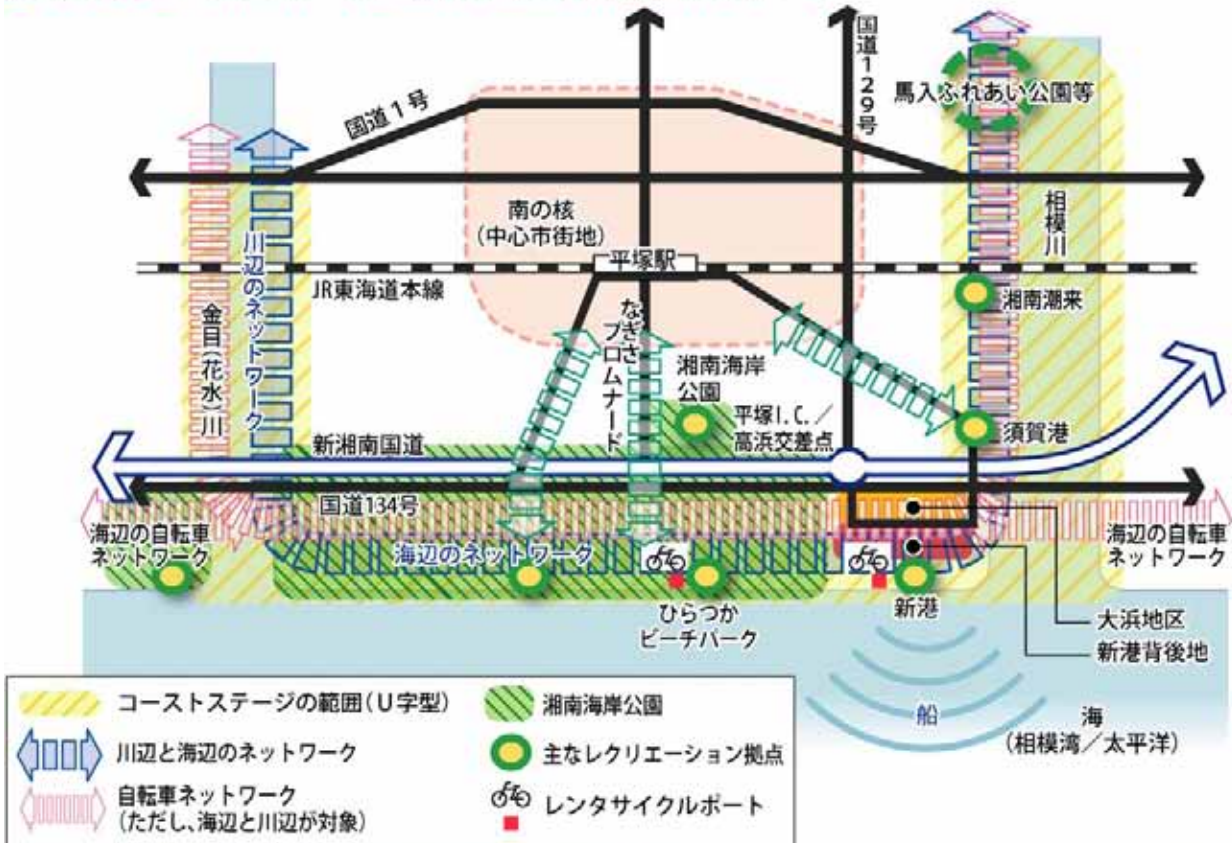
- ・海辺や川辺の要所にある既存の魅力施設をいかし、快適に散策しサイクリングできる海辺と川辺を、馬入ふれあい公園などをつなぎ、回遊構造の形成に努めます。

#### ■ 4. 新港背後地に隣接する大浜地区の土地区画整理事業の推進

- ・新港背後地とこれに隣接する大浜地区は、土地利用や道路計画に密接な関係にあるため、双方の整備計画を整合し、より効果のあるものとします。

## ひらつかコーストステージ

### ■ひらつかコーストステージに係わる取組みの方向性のイメージ



#### 海辺や川の自然やみどりの保全

- ・松林等の維持及び保全と、砂浜の震災
- ・相模川や花水川の自然やみどりの維持と保全

#### 海を多面的に活用する

- ・新港及び周辺においては、多機能型の拠点整備の可能性を探るため、総合的に検討

#### 海辺と川辺をいかしたネットワークづくり

- ・既存の魅力施設をいかし、快適に散策しサイクリングできる海辺と川辺を馬入ふれあい公園などつなぎ回遊構造を形成

#### 新港背後地に隣接する大浜地区の土地区画整理事業の推進

- ・新港背後地と大浜地区は整備計画を整合

